



第二東名高速道路建設に伴う発掘成果

にじとみおか むこうばた 西富岡・向畠遺跡 (伊勢原市No.160遺跡)

古代の集落跡を発掘

にじとみおか むこうばた
西富岡・向畠遺跡の発掘調査

伊勢原市西富岡に所在する西富岡・向畠遺跡は、中日本高速道路株式会社が計画する第二東名高速道路建設に伴う事前調査として、2007年4月から発掘調査を実施しています。これまでの調査によって古代の竪穴住居が多数発見されています。今回の調査地域からも、多数の古墳時代後期から奈良・平安時代の住居跡が見つかり

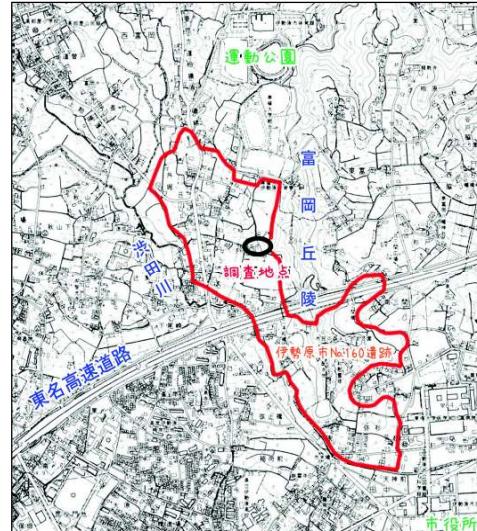
ましたので、発掘調査の成果の一部を紹介します。



カマド近景



上の写真は、11区の古代の住居を南側から見た写真です。北側に粘土で作られたカマドが見つかっています。カマドの煙道には、正面で甕が据え置かれています。床面からは、4本の柱の跡と周溝が見つかっており、残りの良い住居です。出土土器から見ますと、7世紀後半の時期に住んでいた住居の跡です。



遺跡の位置

これまでの主な発見遺構と出土遺物

発見遺構

中・近世: 竪穴建物、掘立柱建物、地下式坑、地下室、道、溝、井戸、土坑など

古代(奈良・平安時代): 竪穴住居、竪穴状遺構、掘立柱建物、円形土坑、土坑など

縄文時代: 敷石住居、集石、配石墓、埋甕、帯状粘土列など

旧石器時代: 様群

出土遺物

中・近世: 陶磁器、かわらけ、硯、宋銭など

古代(奈良・平安時代): 壱師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、銅製品(鎔帶金具…巡方丸釦)、金銅製品(飾り金具)、鉄製品(刀子)、石製品(砥石)、温石、土製品(土鍾)など

縄文時代: 縄文土器、打製石斧、磨製石斧、管玉石棒、石皿、石鏃など

旧石器時代: 槍先形尖頭器(安山岩)、剥片(黒曜石)など



住居断面遠景



住居掘削状況③



住居掘削状況④



住居掘削状況①



住居掘削状況②

上の写真は、11区H16号住居が見つかって掘り進められていく様子です。この住居は、カク乱により半分に分断されているので、埋まっている状況がよく分かる資料です。白い線で囲んだところが住居の輪郭で、それに沿って掘削していきます。遺物が出てきたら、その部分だけタワーにして掘り残し、測量して情報を記録します。この出土資料が住居の時期決定の根拠になります。



第二東名高速道路建設に伴う発掘成果
西富岡・向畠遺跡(伊勢原市No.160遺跡)

2010年11月6日

伊勢原市教育委員会

財団法人 かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市南区中村町 3-191-1

Tel. 045-252-8689 <http://www.kaf.or.jp/>

およそその年代
35000年前 15000年前 2300年前 1700年前 1300年前 800年前 400年前 150年前

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

古代

中世

近世

